

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

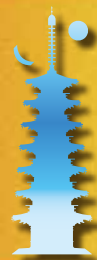
見る／学ぶ／訪ねる／

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

2020.7
第42号



武蔵国分寺跡資料館・おたかの道湧水園再開と来館（園）時のお願い

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りします。また、同感染症に罹りされた方々の一日も早いご快復をお祈りします。

令和2年2月の新型コロナウイルス感染症拡大

から、当館においても感染防止のため、おたかの道湧水園とともに、3月3日（火）から臨時休館（園）をしていましたが、緊急事態宣言の解除を受け、感染防止対策を講じて6月3日（水）から入場制限等を設けて再開しました。

ところで、当館は、「国分寺」の名を冠しています。聖武天皇の国分寺建立の詔にもあるように、当時の疫病（天然痘）の流行が国分寺建立の要因の一つとなっていました。また本市においては、市指定重要有形民俗文化財「疫病神の詫び証文」があります。これは、江戸時代に厄災が家に入り込まないように戸口に張ったと思われるまじない札の一種で、当時の疫病等に対する考えが窺える資料です。昔から疫病等の感染症に対して恐れ、当時の考え方の中で対処等を講じた歴史を知ることができます。

新型コロナウイルス感染症については、まだ有効かつ安全な治療薬はできていませんが、今のところ接触や飛沫により感染することが分かっていることから、当館（園）では、感染防止対策として次のことをお願いしています。

【目次】

- 1頁 武蔵国分寺跡資料館・おたかの道湧水園再開と来館（園）時のお願い
- 2頁 武蔵国分寺跡資料館 令和2年度秋季企画展「玉川上水と国分寺—恋ヶ窪村分水から見る水の変遷—」
- 3頁 INFORMATION
国分寺市文化財ふれあいカレンダー（令和2年度文化財普及事業予定表）
来館者数
- 4頁 INFORMATION
おうちミュージアムの紹介
販売図書の紹介『国分寺市の戦争記録—戦争末期の国分寺町内で起きたこと—』

【来館（園）時のお願い】

- ・37.5度以上の発熱や風邪の症状のある方、体調不安のある方の入館（園）のご遠慮
- ・人数制限（園内50人、館内15人等）
- ・氏名と連絡先の記入（感染症の疑いが生じた場合、保健所等の公的機関へ情報提供する可能性があります）
- ・マスク着用とソーシャルディスタンス（2メートル程度の距離）の保持等

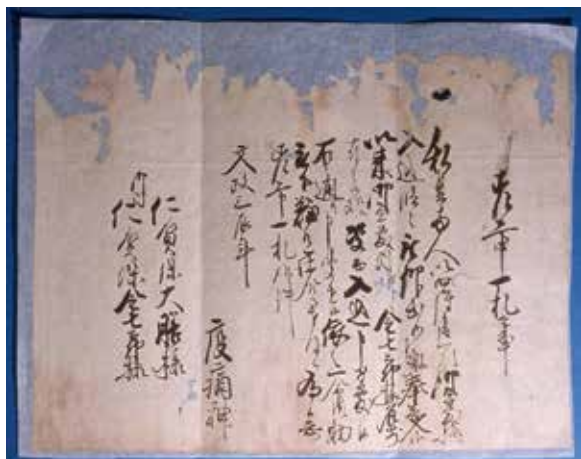
詳しくは、国分寺市ホームページ「文化財関係施設」で「武蔵国分寺跡資料館等の利用に係る留意事項」をご確認下さい。

新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波も予想されております。皆様には、ご自身の身を守るためでもあるということをご理解いただき、当館（園）の感染防止対策にご協力を賜り

ますようお願いいたします。



国分寺市ホームページ
「文化財関係施設」QRコード



疫病神の詫び証文 旗本仁賀保大膳の屋敷に進入して捕らえられた疫病神が、助けてもらう代わりに、仁賀保家と仁賀保金七郎という名のある所へは二度と入らないことを誓約した詫び証文です。この話の内容の文章をほぼ正確に書き写した紙を自宅の戸口に貼り、疫病を除けることを願うもので、流行神信仰を表しています。写真は、市重要有形民俗文化財「疫病神の詫び証文」3点のうち1点です。



玉川上水と国分寺—恋ヶ窪村分水から見る水の変遷—

- 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)
- 期 間 令和2年9月19日(土)～12月6日(日)
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休 館 日 月曜日(祝・振替休日の場合は直後の平日)
※状況により会期が変更となる場合があります。

展示構成

- 第1章 玉川上水の成立
- 第2章 恋ヶ窪村分水の誕生
- 第3章 武蔵野新田の開発と玉川上水
- 第4章 近代の水道整備と恋ヶ窪村分水
- コラム 石造物から見る水と人々の生活

江戸時代に江戸市中へ飲料水を供給する目的で羽村から多摩川の水を引いた玉川上水が開削されました。玉川上水は武蔵野台地を横断した人工水路であり、江戸時代を通じて江戸市中に水を供給するライフラインとして利用されました。明治時代になり、東京に近代上下水道設備が敷設されると、玉川上水は多摩川から淀橋浄水場までの導水路として昭和40年代まで利用され、長く東京の水の供給に役立てられていました。

江戸時代には玉川上水から流域沿いの村々へ分水が行われ、水不足に悩まされていた村々の環境改善に貢献しました。国分寺市域でも玉川上水からの分水が行われており、江戸時代において玉川上水は人々の生活になくてはならないものでした。そのような分水の管理は主にその地域に住む人々の手で行われており、当時の人々にとって水は自分たちの手で維持するものでもありました。

玉川上水が上水路の役割を終えてからも導水路として利用されていた一方で、各分水は明治時代以降統廃合されて急速にその姿を消していきます。国分寺市域の分水もその多くが水田の減少や上下水道の敷設などの時代の変化を受けてなくなりましたが、市内の各所にはその名残が残っています。その中で国分寺村外二ヶ村分水の一部である恋ヶ窪村分水が平成29年に市重要史跡に登録され、開削当時の姿を今に残しています。本企画展では江戸時代から明治時代における玉川上水の変遷と国分寺村外二ヶ村分水や市内の分水を中心に、国分寺市内の玉川上水にまつわる歴史や人々の営みを紹介します。

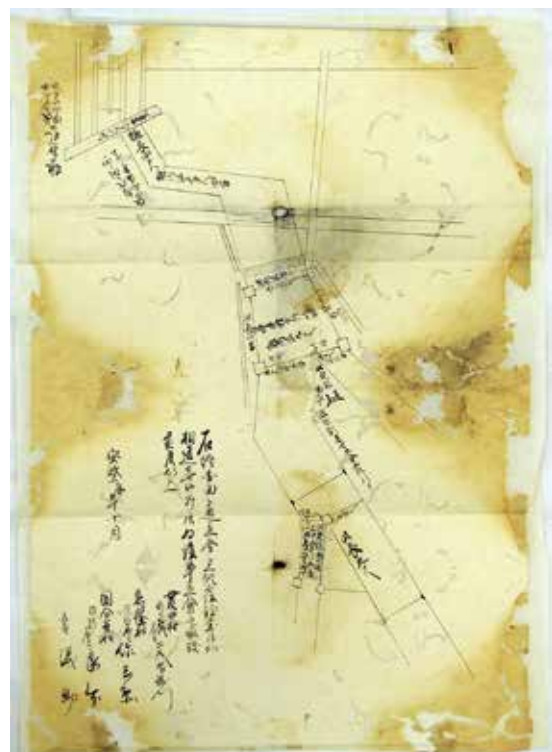
(石井 秀和)



嘉永5年5月 玉川上水分水御請書



市重要史跡恋ヶ窪村分水



安政3年10月 分水樋口修復絵図

国分寺市文化財ふれあいカレンダー【令和2年度文化財普及事業予定表】

月	日(曜日)	行 事
9	19日(土)	●秋季企画展「玉川上水と国分寺一恋ヶ窪村分水から見る水の変遷」(12月6日まで)
10	10日(土)	●市内文化財めぐり(事前申込制)
	18日(日)	●おたかの道湧水園無料公開(おたかの道湧水園開園記念日)
12	1日(火)	●長屋門ヨウカゾウ飾り(12月8日まで)
	6日(日)	●秋季企画展「玉川上水と国分寺一恋ヶ窪村分水から見る水の変遷」最終日
1	5日(火)	●長屋門正月飾り(1月17日まで)
	9日(土)	●長屋門繡玉飾り(1月17日まで)
	12日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座①(13:30~いずみホールB)
	16(土)~17(日)	多摩郷土誌フェア(会場:立川市女性センターアイム1階)
	26日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座②(13:30~いずみホールB) ●文化財防火デー 消防訓練(国分寺消防署・国分寺市消防団・ふるさと文化財課その他)
2	2日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座③(13:30~いずみホールB) ●長屋門ヨウカゾウ飾り(2月9日まで)
	16日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座④(13:30~いずみホールB)
	17日(水)	●長屋門雛飾り(3月7日まで)
3	2日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑤(13:30~いずみホールB)
	7日(日)	●長屋門雛飾り最終日
	16日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑥ 兼市民歴史講座(13:30~いずみホールA)
	30日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座⑦ [ボランティア認定式](13:30~いずみホールB)

※記号説明: ●→ふるさと文化財課主催・共催事業, ○→ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座, 無印→ふるさと文化財課関連行事
 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容及び日程の変更や中止となる場合があります。

お問い合わせ先 国分寺市教育委員会 ふるさと文化財課
 185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
 〈電話〉042-300-0073 〈FAX〉042-300-0091

 来館者数

2009年10月18日~2020年6月末日

来館者数累計 142,719名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
1	418	24
2	601	25
3	33	1
4	0	0
5	0	0
6	563	24
計	1,615	74

【1月~6月の学校見学】

	学校数	人数
高校生	1	24
大学生	1	24

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数
 ※3月3日(火)~6月2日(火)は新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館

おうちミュージアムの紹介

新型コロナウイルス感染症による学校休校をきっかけに北海道博物館の発案ではじまった web 企画です。室内で楽しみながら学べるコンテンツを全国各地のミュージアムが参加して提供しています。



北海道博物館のWEBサイトから参加ミュージアムの一覧をチェック！

おうちミュージアム

検索



武蔵国分寺跡資料館も参加し、ぬりえやクイズ、ペーパークラフトなどを用意しました。子どもも大人もおうちで楽しく学べますので、ぜひ国分寺市ホームページ「おうちミュージアム」にアクセスしてみてください。

国分寺市ホームページ
「おうちミュージアム」
QRコード



販売図書の紹介

『国分寺市の戦争記録—戦争末期の国分寺町内で起きたこと—』

本書は平成 27 年に武蔵国分寺跡資料館の夏季企画展で展示した内容をもととしています。主に戦争末期（昭和 19 年から 20 年頃）における国分寺町内の人々の暮らしに着目し、町民の出征や衣食生活、供出の様様、勤労働員、空襲と防空壕の話などを記載し、実際に町内で体験された方の証言記録も紹介したものです。

武蔵国分寺跡資料館等で販売をしています。購入方法等、詳しくは、武蔵国分寺跡資料館ホームページをご覧ください。



発行日：令和 2 年 7 月
第二版
サイズ：A4判
フルカラー
ページ数：63 頁
価格：定価 600 円

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



- 交通のご案内 ※駐車場はありません
- 電車 ● JR国分寺駅下車／徒歩約 20 分 ● JR西国分寺駅下車／徒歩約 15 分
 - バス ● 国分寺市循環バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約 8 分
 - 国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約 8 分
 - 国分寺駅南口より「京王バス」系統番号〈寺83〉・〈寺85〉乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約 8 分

■ 開館時間

午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 45 分まで）

■ 休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■ 入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）
一般……………100 円（年間パスポート 1,000 円）
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- 1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5 日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - 2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - 3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5 日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページQRコード